

きっと伝わる

校長 武井 正明

先週金曜日の午後、1年生はキャリア教育の講演会。

株式会社なごみ 代表取締役の本間俊明様から来校いただきました。

私は殆どお話を聴けなかったのですが、パワーポイントで「人に喜んでもらうことが嬉しい」と、仕事の楽しさを語っておられた本間さんの人間的な魅力に関心が高まりました。

講演を終えて、校長室に戻ってこられた本間さんは「自分の実体験でないと面白くないかなと思ってお話をさせていただいたのですが、どれくらい聴いてもらえたのか自信がないなあ…」と仰っていました。

私は、住宅会社の営業職で、きっとバリバリ活躍されていた環境から、四十代になって、やっぱりやりたいのはこれだ、と一念発起して現在のお仕事に身を転じた、本間さんの行動力の高さと目の輝きに、強く惹かれました。

中学生相手の講演は、きっと大人よりも難しいのだと思います。いきなり初対面の中学生に、リラックスしてもらおうと笑いネタを入れても、なかなか思うように反応してくれないのも、よくあることです。



私は170人いたらその中で、必ず本間さんのお話が人生の、何かのきっかけになる生徒がいたと信じています。そしてそれは、ずっと時間が経ってから「実はあの時の本間さんのお話が…」ということが、教員世界にはよくあることなんですよ、とお伝えしました。

そんな会話をしていたら、校長室のドアをノックする音がしました。

講演に使った機材をもってきてくれた、ふたりの男子生徒です。礼儀正しく挨拶とお礼をするふたりに本間さんは興味津々。所属している部活動や、将来なりたい職業などの逆取材が始まりました。

彼らは、今頑張っている部活動や、将来の希望職業をしっかりと答えていました。

本間さんも聴き手の生の声を聞けて、少しホッとしたような表情になりました。

先日の生徒総会も然り。今回の講演会もそう。何度もこういう「聴く」経験を重ねてくると、段々話のポイントがわかってくるものです。そして現在の自分にとって、ヒットするポイントが、必ず見つかってくるものなのです。

私の教員人生を変えた講演会は、最初全く聴く気がなく、最後列で聴いていたお話でした。それが講演会後には、人生観さえ変えてしまうのですから、出逢いのアンテナを高くしておくことは、とても大事なことなのです。